

【観点別学習状況の評価と評定の評価基準】

観点別 評価	A	「十分に満足できる」状況と判断されるもの(80%以上)
	B	「おおむね満足できる」状況と判断されるもの(50%以上)
	C	「努力を要する」状況と判断されるもの(50%未満)

評定	5	「十分に満足できる状況であるもののうち、特に程度の高い」状況と判断されるもの(90%以上)
	4	「十分満足できる」状況と判断されるもの(80%以上90%未満)
	3	「おおむね満足できる」状況と判断されるもの(50%以上80%未満)
	2	「努力を要する」状況と判断されるもの(20%以上50%未満)
	1	「一層努力を要する」状況と判断されるもの(20%未満)

国語科

教科目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</p> <p>(2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p>
学年目標	<p>(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>

単元	項目	評価の主な観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 豊かに想像する	「岩が」「握手」 ○言葉発見① 辞書の語釈 ○グループディスカッション ○漢字を身につけよう① ◆書写：文字を効果的に使うために	○理解したり表現するために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大部分を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ○身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。	○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ○「読むこと」において、文章の種類をふまえて、物語の展開の仕方などを捉えている。 ○「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり、互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。	○進んで物語の展開の仕方などを捉え、学習課題にそって批評しようとしている。 ○進んで理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○積極的に進行の仕方を工夫しながら、学習の見通しをもって議論や討議をしようとしている。 ○積極的に明朝体・ゴシック体・手書き文字の特徴と、それを使うことによる効果を理解し、学習課題にそってそれぞれの文字の特徴や効果について話し合おうとしている。
2 わかりやすく伝える	○批判的な読み「間の文化」 ○課題作文 ○四字熟語 ○漢字を身につけよう②	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大部分を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。	○「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。	○進んで文章の構成や表現の仕方について評価し、学習課題にそって考えをまとめようとしている。 ○文章全体を整え、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。 ○進んで四字熟語について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。
3 ものの見方・感性を養う	「俳句の世界/俳句十句」 ○批評文 ○言葉発見② 和語・漢語・外来語【1】 「希望」	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○第2学年までに学習した常用漢字	○「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。 ○「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章の良い点	○進んで和語、漢語、外来語などを使い分け、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。 ○進んで考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって討論しようとしている。

	<p>○私の読書体験</p> <p>○漢字を身につけよう③</p> <p>◆書写：デザインと文字</p>	<p>字に加え、その他の常用漢字の大体</p> <p>○「読むこと」において、文章を</p> <p>○目的に応じて、効果的に文字を書くことの意義を理解している。</p>	<p>や改善点を見いだしている。</p> <p>○「読むこと」において、文章を</p> <p>自分の意見をもっている。</p>	<p>○進んで人間、社会、自然などについて自分の意見を持ち、学習したことの実生活への生かし方を考えている。</p> <p>○積極的に効果的に文字を書く意義を理解し、学習の見通しをもって文字による多様な表現について話し合おうとしている。</p>
4 論理的に考える	<p>「フロン規制の物語」</p> <p>○言葉発見③ 慣用語・ことわざ・故事成語</p> <p>○パブリックスピーキング</p> <p>○漢字を身につけよう④</p>	<p>○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用語や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うことをとおしている。</p> <p>て、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体</p> <p>○「読むこと」において、文章を</p> <p>○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体</p> <p>○「読むこと」において、文章を</p> <p>○「書くこと」において、目的や意</p>	<p>○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。</p>	<p>○進んで文章を批判的に読み、学習課題にそって考えをまとめている。</p> <p>○進んで慣用語などについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p> <p>○積極的に場の状況に応じて表現を工夫し、学習の見通しをもって話し合おうとしている。</p>
5 古典に学ぶ	<p>「和歌の世界」</p> <p>「おくのほそ道」</p> <p>○言葉発見④ 言葉の現在・過去・未来</p> <p>「論語」</p> <p>○表現プラザ</p> <p>○漢字を身につけよう⑤</p> <p>◆書写：三年間のまとめ</p>	<p>○歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。</p> <p>○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。</p> <p>○長く親しまれている言葉や古典の一説を引用するなどして使っている。</p> <p>○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体</p> <p>○「読むこと」において、文章を</p> <p>○「書くこと」において、目的や意</p> <p>○今までに学習した知識・技能を生かして書いている。</p>	<p>○「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。</p> <p>○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</p> <p>○「書くこと」において、目的や意</p> <p>○「書くこと」において、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>○進んで表現の仕方について評価し、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。</p> <p>○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p> <p>○集めた材料の客観性や信頼性を確認し、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。</p> <p>○積極的に3年間で習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして卒業を記念する作品を作っている。</p>
6 情報を関係づける	<p>「情報社会を生きる」</p> <p>○ポスター</p> <p>○文法の窓</p> <p>○漢字を身につけよう⑥</p>	<p>○情報の信頼性の確かめ方を理解している。</p> <p>○話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p> <p>○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、</p> <p>○「読むこと」において、文章を</p> <p>○「書くこと」において、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>○「読むこと」において、文章を</p> <p>○「書くこと」において、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>○積極的に情報と情報との関係に注意して内容を解釈し、学習の見通しをもって話し合い、考えをまとめようとしている。</p> <p>○集めた材料の客観性や信頼性を確認し、学習の見通しをもってポスターを書こうとしている。</p>
7 読みを深め合う	<p>「初恋」</p> <p>○言葉派遣⑤ 相手</p>	<p>○敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。</p>	<p>○「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。</p>	<p>○進んで表現の仕方について評価し、学習課題にそって考えを伝え合</p>

	や場に配慮した言 葉遣い 「故郷」 ○読書活動 ○漢字を身につけ よう⑦ ◆書写：未来に向か って	〇第2学年までに学習した常用漢 字に加え、その他の常用漢字の大体 を読んでいる。また、学年別漢字配 当表に示されている漢字について、 文や文章の中で使い慣れている。 ○今までに学習した知識・技能を生 かして書いている。	いる。 ○「読むこと」において、文章を読 んで考えを広げたり深めたりして、 人間、社会、自然などについて、自 分の意見をもっている。 ○「話すこと・聞くこと」において、 自分の立場や考えを明確にし、相手 を説得できるように論理の展開な どを考えて、話の構成を工夫してい る。	おうとしている。 ○進んで考えを広げたり深めたり し、学習課題にそって批評しようと している。 ○積極的に3年間で習得した知識・ 技能を振り返り、今までの学習を生 かして卒業を記念する作品を作っ ている。
8 視野を広げ る	「『文殊の知恵』の 時代」 「坊ちゃん」 ○漢字を身につけ よう⑧ ○名言集 ◆書写：先人の文字 に学ぶ・手書きの力	○理解したり表現したりするた めに必要な語句の量を増し、語感を磨 き語彙を豊かにしている。 ○全体と抽象など情報と情報との 関係について理解を深めている。 ○第2学年までに学習した常用漢 字に加え、その他の常用漢字の大体 を読んでいる。また、学年別漢字配 当表に示されている漢字について、 文や文章の中で使い慣れている。 ○今までに学習した漢字や仮名が、 先人のすぐれた筆跡に基づいてい ることを理解している。 ○手書き文字のよさについて考え ている。	○「読むこと」において、文章を読 んで考えを広げたり深めたりして、 人間、社会、自然などについて、自 分の意見をもっている。 ○「話すこと・聞くこと」において 多様な考えを想定しながら材料を 整理し、伝え合う内容を検討してい る。 ○「書くこと」において、表現の仕 方を考えたり資料を適切に引用し たりするなど、自分の考えが分かり やすく伝わる文章になるように工 夫している。	○進んで人間や社会などについて 考え、学習課題にそって批評しよ うとしている。 ○積極的に先人の筆跡に関心をも ち、現在の文字とのつながりを見つ けようとしている。 ○進んで手書きのよさについて考 え、学習の課題にそって理解したこ とや感じたことを伝え合おうとし ている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価材料	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト(暗唱テストを含む) ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・課題に関する提出物(電子を含む) ・発表の内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・振り返りシート ・課題解決に向けて取り組む姿勢 ・発表の内容

社会科

教科目標	(地理) 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。
	(歴史) 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。
	(公民) 現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

単元	項目	評価の観点基準（B評価を表記）		
		知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう態度
二度の世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦と民族独立の動き ・大正デモクラシー ・恐慌から戦争へ ・第二次世界大戦と日本の敗戦 	<ul style="list-style-type: none"> ・諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、二度の世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、戦争による世界と我が国の社会の変化や影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の世界的な混乱と各国への影響について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
現代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の民主化と冷戦 ・世界の多極化と日本 ・冷戦の終結とこれからの日本 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、国民生活への影響と国際平和の実現への努力などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・変動する世界と日本の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
私たちと現代社会	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちが生きる現代社会の特色 ・現代社会の文化と私たち ・現代社会の見方・考え方 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解するとともに、諸資料から現代日本の特色に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちが生きる現代社会の特色について、現代日本に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
個人の尊重と日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> ・法に基づく政治と日本国憲法 ・日本国憲法と 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の尊重と法の支配、民主主義などをふまえて、憲法や政治の課題を追究し、解決し 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法で基本的人権が保障されていることの意義について多面的・多角的に考察し、 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法と基本的人権について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社

	<p>基本的人権</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の平和主義 	<p>ていくことを理解している。</p>	<p>表現している。</p>	<p>会に関わろうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の平和主義について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
<p>国民主権と日本の政治</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治と政治参加 ・国の政治のしくみ ・暮らしを支える地方自治 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方について理解している。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国民主権と日本の政治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
<p>私たちの生活と経済</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活と経済のしくみ ・生産の場としての企業 ・金融のしくみとお金の価値 ・財政と国民の福祉 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な消費生活を中心に経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などのしくみや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解するとともに、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察、表現している。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察・構想し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活と経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
<p>私たちと国際社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国家と国際社会 ・国際社会の課題と私たちの取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・領土と国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項を基に、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であることを理解している。 ・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であること 	<ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちと国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

		とを理解している。		
私たちの課題 —持続可能な社会をめざして—	<ul style="list-style-type: none"> • 調べ学習 • レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> • 持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題に関わる基本的な事項について理解している。 • 諸資料から、持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題の解決に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 社会的な見方・考え方を働かせ、私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について多面的・多角的に考察・構想し、自分の考えを説明、論述している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう態度
評価材料	<ul style="list-style-type: none"> • 定期考査 • 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> • 定期考査 • 小テスト • ワークシート（電子データ含む） • レポート 	<ul style="list-style-type: none"> • ワークシート（電子データ含む） • 振り返り • 小テスト

数学科

<p>教科目標</p>	<p>① 数の平方根について理解し、数の概念についての理解を深める。また、目的に応じて計算したり式を変形したりする能力を伸ばすとともに、二次方程式について理解し用いる能力を培う。</p> <p>② 図形の相似、円周角と中心角の関係や三平方の定理について、観察、操作や実験などの活動を通して理解し、それらを図形の性質の考察や計量に用いる能力を伸ばすとともに、図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。</p> <p>③ 具体的な事象を調べることを通して、関数 $y=ax^2$ について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を伸ばす。</p> <p>④ 母集団から標本を取り出し、その傾向を調べることで、母集団の傾向を読み取る能力を培う。</p>
<p>学年目標</p>	<p>① 数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y=ax^2$、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>② 数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。</p> <p>③ 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、問題解決しようとする態度を養う。</p>

単元	項目	評価の観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>1章 文字式を使って説明しよう [多項式]</p>	<p>1 多項式の計算 2 因数分解 3 式の計算の利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。 簡単な1次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 既に学習した計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解する方法を考察し表現することができる。 文字を用いた式を活用して数量及び数量の関係を捉え説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 式の展開や因数分解をすることの必要性や意味を考えようとしている。 式の展開や因数分解について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 式の展開や因数分解を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
<p>2章 数の世界をさらにひろげよう [平方根]</p>	<p>1 平方根 2 根号をふくむ式の計算 3 平方根の利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> 数の平方根の必要性和意味を理解している。 有理数、無理数の意味を理解している。 数の平方根をふくむ簡単な式の計算をすることができる。 具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学んだ文字式の計算などと関連付けて、数の平方根をふくむ式の計算の方法を考察し表現することができる。 数の平方根を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数の平方根の必要性和意味を考えようとしている。 数の平方根について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
<p>3章 方程式を利用して問題を解決しよう [2次方程式]</p>	<p>1 2次方程式とその解き方 2 2次方程式の利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 平方の形に変形し2次方程式を解くことができる。 解の公式の意味を理解し、それを用いて2次方程式を解くことができる。 因数分解を利用して2次方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平方根や因数分解の考えをもとにして、2次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 具体的な問題の解決に2次方程式を活用し、解が適切であるかどうかを判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 2次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 2次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

		<ul style="list-style-type: none"> ・事象の中の数量やその関係に着目し、2次方程式をつることができる。 		
4章 ㊟ 関数の世界をひろげよう [関数 $y=ax^2$]	1 関数 $y=ax^2$ 2 関数 $y=ax^2$ の性質と調べ方 3 いろいろな関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・関数 $y=ax^2$ について理解している。 ・事象の中には関数 $y=ax^2$ として捉えられるものがあることを知っている。 ・関数 $y=ax^2$ を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。 ・いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関数 $y=ax^2$ として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ・関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関数 $y=ax^2$ の必要性和意味を考えようとしている。 ・関数 $y=ax^2$ について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・関数 $y=ax^2$ を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
5章 ㊟ 形に着目して図形の性質を調べよう [相似な図形]	1 相似な図形 2 平行線と比 3 相似な図形の面積と体積	<ul style="list-style-type: none"> ・平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。 ・相似な平面図形の相似比と面積比の関係について理解している。 ・基本的な立体の相似の意味を理解し、相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係について理解している。 ・誤差、有効数字の意味を理解し、近似値を $a \times 10^n$ の形に表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ・平行線と線分の比についての性質を見だし、それら確かめることができる。 ・相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の相似の意味や、相似な図形の相似比と面積比や体積比の関係を考えようとしている。 ・図形の相似について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
6章 円の性質を見つけて証明しよう [円]	1 円周角の定理 2 円周角の定理の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知っている。 ・円周角の定理の逆が成り立つことを知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・円周角と中心角の関係を見いだすことができる。 ・円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・円周角と中心角の関係をみいだそうとしている。 ・円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・円周角と中心角を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
7章 三平方の定理を活用しよう [三平方の定理]	1 三平方の定理 2 三平方の定理の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知っている。 ・三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 ・三平方の定理の逆が成り立つことを知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理を見いだすことができる。 ・三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理を見いだそうとしている。 ・三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
8章 集団全体の傾向を推測しよう [標本調査]	1 標本調査	<ul style="list-style-type: none"> ・標本調査の必要性和意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。 ・簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・標本調査の必要性和意味を考えようとしている。 ・標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 単元別テスト ・ 小テスト ・ 行動の観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 単元別テスト ・ 小テスト ・ 行動の観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 小テスト ・ ワークシート（プリント） ・ 行動の観察 ・ 振り返り

理科

教科目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。
	(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
	(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

単元	項目	評価の観点規準（B評価を表記）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 化学変化とイオン	第1章 水溶液とイオン 第2章 酸、アルカリとイオン 第3章 化学変化と電池	化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、水溶液とイオン、化学変化と電池を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	化学変化とイオンに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
2 生命の連続性	第1章 生物の成長と生殖 第2章 遺伝の規則性と遺伝子 第3章 生物の多様性と進化	生命の連続性に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長と殖え方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	生命の連続性について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長と殖え方、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	生命の連続性に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
3 運動とエネルギー	第1章 物体の運動 第2章 力のはたらき 第3章 エネルギーと仕事	物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、力学的エネルギーを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	運動とエネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解、物体の運動、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	運動とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
4 地球と宇宙	第1章 地球の運動と天体の動き 第2章 月と金星の見え方 第3章 宇宙の広がり	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と恒星を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	地球と宇宙について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	地球と宇宙に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

5 地球と私たちの未来のために	第1章 自然のなかの生物 第2章 自然環境の調査と保全 第3章 科学技術と人間 地域とつながる 終章 持続可能な社会をつくるために	日常生活や社会と関連付けながら、生物と環境、自然環境の保全と科学技術の利用を理解するとともに、自然環境を調べる観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察して判断している。	自然と人間に関する事象・現象に進んで関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
-----------------	---	---	--	--

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	定期考査、小テスト、レポート	定期考査、小テスト、レポート、発表の内容、ワークシート	ノート、ワークシート、レポート、振り返りテスト

音楽科

教科目標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
学年目標	<p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</p>

単元	評価の観点規準 (B 評価)			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度	
『花』	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉（歌詞）のリズム、旋律の抑揚を活かして歌唱できる。 ・同声二部合唱の特徴を理解して歌唱できる。 ・通作形式による細かい音符の変化を理解して歌唱できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通作形式であることを理解して、1～3番までそれぞれの特徴を捉えて歌唱できる。 ・頻繁に変化する強弱記号を意識して歌唱できる。 ・フレーズ（歌詞と旋律）の流れを意識して歌唱できる。 ・水流を表す二拍子の特徴や速度感を考え、それによって生み出される雰囲気を考えて歌唱できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の発音の仕方、フレーズ、細かいリズムをどのように歌唱に生かしたらよいか考えて歌唱できる。
楽譜の規則	楽典	<p>下記の要素を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音符や休符の長さ ・調性の特徴と構造 ・反復記号 ・楽曲構造 ・速度記号 ・表現記号 ・知的財産権（著作権） 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱、器楽、創作、即興の際に、左記要素を意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した要素を、歌唱や器楽の実技に應用するよう関連づけて取り組むことができる。
『能』 『狂言』	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統芸能の体系を理解し、社会背景・時代背景を理解する。 ・能舞台や能・狂言独特の表現等を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・能と狂言、それぞれの言葉や旋律の抑揚、所作等の特徴を理解して鑑賞できる。 ・能と狂言の諸要素の相違を理解して鑑賞できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・能と狂言を構成する諸要素からその違いを理解して鑑賞し、感受したことや根拠を持って批評する文章を作成できる。

和太鼓実技	器楽	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢やバチの握り方などの奏法の基礎を理解して演奏できる。 ・楽譜に記載されている通りに演奏できる。 ・口唱歌による言葉と音楽との関係を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢、奏法など、音色との関わりを意識して演奏できる。 ・フォームやリズムの修正を行い、演奏に反映させられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他生徒の演奏を参考に、自分の演奏を振り返り、姿勢を確認したり、音を聞いて改善する箇所を考えることができる。
-------	----	--	--	--

4小節のリズムを作る	創作	<ul style="list-style-type: none"> 音価を考えて4小節の創作ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 聴き手に伝わりやすく、なおかつ高度な工夫をほどこしたリズムを工夫できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品を見直して改善点を考えることができる。
混声三(四)部合唱	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> 強弱、表現記号など楽譜に記載されている内容を理解し、歌唱に適用できる。 全体の響きを味わいながら自分のパートの役割を考え、歌唱できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲想に応じて強弱等の表現を工夫できる。 曲の構造や特徴に合わせて表現を工夫できる。 曲の背景を考えて表現を工夫できる。 全体の響きを聴き、その中とけ合わせるように意識して歌唱できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に歌唱する。 自分の歌唱を振り返り、次の授業で改善したいことを考えることができる。 パートやクラスでの練習に積極的に参加し、自分の考えを述べたり、他生徒の意見を参考に自分の考えを再構築し、演奏に生かせる。
『ボレロ』	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲の時代背景、社会背景、楽曲構成、使用楽器の特徴を理解して鑑賞できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の特徴の活かし方、旋律との関わりを理解して鑑賞できる。 特徴的な強弱構成や絶えず反復するリズムなど、顕著な特徴を捉えて鑑賞できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲を構成する諸要素を意識して鑑賞し、感受したことや根拠をもった批評を文章で表現することができる。
PC 上での創作	創作	<ul style="list-style-type: none"> PC上で、音価を理解してリズムを打ち込むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定められたリズムにアレンジを加えられる。 表現したい内容に沿って音域や使用音、和音、リズム、音色、速度を工夫できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 常に再生と検証をくり返して、自分の作品をより良く改善しようとする。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価材料	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート(プリント) 実技テスト 作品提出 行動の観察 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート(プリント) 実技テスト 作品提出 行動の観察 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート(プリント) 実技テスト 作品提出 行動の観察 振り返りシート(毎時)

美術科

教科目標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
学年目標	<p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独自の・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p>

分野	題材名	評価の観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
オリエンテーション				
鑑賞	金屏風 琳派とは 文化遺産	<p>知 金屏風をもとに、日本文化にふれ、その良さや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>技 金箔を貼る疑似体験を通して、伝統的な表現への理解を深める。</p>	<p>鑑 受け継がれてきた表現の特質などから琳派のよさや美しさを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に金屏風のよさや美しさを感じ取り理解を深めるとともに、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
工芸	自分へ贈る卒業 記念品	<p>知 形や色彩、材料の質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、意図や効果など全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>技 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見直しを持って創造的に表している。</p>	<p>発 構成や装飾の目的や条件などを基に、使う場面や飾る場所、思いなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現する構想を練っている。</p> <p>鑑 使う場面や飾る場所、思いなどとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に調和のとれた装飾を考え構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して見直しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使う場面や飾る場所、思いなどとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
絵や彫刻	今を生きる私へ アートボックス	<p>知 モチーフ、背景や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に、自分の印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>技 材料の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫し</p>	<p>発 自分について見つめなおし感じ取ったことや心の内面などを基に主題を生み出し、レイアウトや色彩などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p>	<p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に今の自分から感じ取ったことや心の内面などを基に構想を練ったり、構図や表情など意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p>

		で創造的に表している。	鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	鑑 作者の心情や表情の意図と創造的な工夫などについて考え見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
--	--	-------------	--	---

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	定期テスト ワークシート 作品	定期テスト ワークシート 作品	美術ファイル ワークシート

保健体育科

教科目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
学年目標	体育分野 ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ・運動についての自己や中間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や中間の考えたことに他者に伝える力を養う。 ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人ひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。 保健分野 ・個人の生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ・健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える能力を養う。 ・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

単元	項目	評価の観点規準 (B評価)		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体づくり運動		○知識 ・身体づくり運動の意義と行い方、身体の動きを高める方法などについて理解している。	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や中間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくり運動に積極的に取り組むとともに、中間の学習を援助しようとするなど、一人ひとりの違いに応じた動きなどを認めようとするなど、話し合いに参加しようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
体育理論 ㊦	・現代生活におけるスポーツの意義 ・国際的なスポーツ大会の意義と役割 ・人びとを結ぶスポーツ	○知識 ・文化としてのスポーツの意義について理解している。	・文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている	・文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組もうとしている。
ダンス	・創作ダンス ・現代的なリズムのダンス	○知識 ・ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。 ○技能 ・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができる。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができる。	・表現などの自己や中間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や中間の考えたことを他者に伝えている。	・ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとするなど、作品や発表などの話し合いに貢献しようとするなど、一人ひとりの違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどなどしたり、健康・安全を確保したりしている。
陸上競技 ㊦	・短距離・リレー ・走り高跳び ・長距離走	○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能	・動きなどの自己や中間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとすること、一人ひとりに

		<ul style="list-style-type: none"> ・短距離・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受け渡しで次走者のスピードを十分高めることができる。 ・走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空中動作で跳ぶことができる。 ・長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 		<p>との違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。</p>
球技 ㊦	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型 ・ネット型 ・ベースボール型 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などの話し合いに貢献しようとする、一人ひとりの違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに教え合おうとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。
水泳 ㊦	<ul style="list-style-type: none"> ・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ ・バタフライ ・個人メドレー 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりすることができる。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。 ・バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。 ・複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとする、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをして、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。
器械運動 ㊦		<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マット運動では、回転系や巧技 	<ul style="list-style-type: none"> ・技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・器械運動に自主的に取り組むとともに、よい演技をたたくようとする、互いに助け合い教え合おうとする、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどを

		<p>系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。 		<p>したり、健康・安全を確保したりしている。</p>
<p>武道 ⑦</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方体力の高め方などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連携技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしてたり、健康・安全を確保したりしている。
保健	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の予防 ・健康を守る社会の取組 ・健康と環境 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解している。 ・健康の保持増進や疾病の予防のためには、個人や社会の取組が重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要であること。また、医薬品は、正しく使用することを理解している。 ・身体には、環境に対してある程度まで適応能力があること。身体の適応能力を超えた環境は、健康に影響を及ぼすことがあること。また、快適で能率のよい生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があることを理解している。 ・飲料水や空気は、健康と密接な関わりがあること。また、飲料水や空気を衛生的に保つには、基準に適合するよう管理する必要があることを理解している。 ・人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し、判断しているとともに、それらを表現している。 ・健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し、判断しているとともに、それらを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。 ・健康と環境についての学習に自主的に取り組もうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価材料	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査（知） ・課題レポート（知） ・実技試験（技） 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・学習カード ・課題レポート ・実技試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・学習カード ・課題レポート

技術科

教科目標	<p>技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>①生活や社会で利用されている計測・制御のプログラミングについての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。</p> <p>②生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>③よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
学年目標	<p>①材料や加工の特性等の原理・法則と、加工方法等の応用的な技術の仕組みについて理解する。</p> <p>②製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる。</p> <p>③材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考える。</p> <p>④計測・制御システムの仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。</p> <p>⑤入出力されるデータの流れを元に計測・制御システムを構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができる。</p> <p>⑥生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解する。</p>

単元	項目	評価の観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A(1) 材料と加工の技術	1-1 材料を利用するための技術	<ul style="list-style-type: none"> 金属の特徴や加工法の科学的な原理・法則を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で利用されている製品に込められた工夫を読み取り、材料と加工の技術の見方・考え方に気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで材料と加工の技術に関わり、主体的に理解し、技能を身につけようとしている。
D(3) 計測・制御のプログラミングによる問題解決	2-2 計測・制御による問題解決	<ul style="list-style-type: none"> 計測・制御の仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 計測・制御に関わる問題を見だし、課題を設定できる。 入出力されるデータの流れをもとに解決策となる計測・制御システムを構想し、情報処理の手順を具体化することができる。 制作工程表に基づき、設計と実際の動作を確認しながら、合理的な解決作業を考えることができる。 問題解決とその過程を振り返り、社会からの要求を踏まえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 知的財産を創造、保護、及び活用しようとしている。 自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。
D(4) 社会の発展と情報の技術	3 これからの情報の技術	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会に果たす役割や影響について情報の技術の概念を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、未来に向けた新たな改良、応用について提言できる。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活や社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。
技術分野の学習を終えて	技術分野の学習を振り返り、私たちの未来へつなげよう		<ul style="list-style-type: none"> 技術にかかわる問題を解決するには、よい面と悪い面の両面を意識し、最適な解決策を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会を構築するために、主体的に技術にかかわる態度や技術を工夫し創造する態度が身についている。
評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 教材作品 実習レポート 行動の観察 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 教材作品 実習レポート 行動の観察 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ノート ワークシート（プリント） 行動の観察 振り返り 	

家庭科（消費生活、住生活、家族・家庭生活）

教科目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
学年目標	<p>(1) 消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解し、自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫することができる。</p> <p>(2) 家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解し、工夫することができる。</p> <p>(3) 幼児の発達と生活の特徴、子供が育つ環境としての家族の役割、幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解する。また、幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫することができる。</p>

単元	項目	評価の観点規準（B評価を表記）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
私たちの消費生活と環境	責任ある消費者のなるために	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の基本的な権利と責任について理解している。 自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自立した消費者としての消費行動について考え、工夫している。 自立した消費者としての環境に配慮した生活について考え、工夫している。 持続可能な消費生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。 自立した消費者としての環境に配慮した生活について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。 自立した消費者としての環境に配慮した生活について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。
私たちの住生活	安全な住まい方	<ul style="list-style-type: none"> 室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について理解している。 家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫している。 家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について工夫している。 自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫している。 持続可能な住生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 住文化の継承について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決

				<p>に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <p>・よりよい住生活を目指して、住居の機能と安全な住まい方について、工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
私たちの成長と家族・地域	幼児の生活と家族	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼い頃を振り返り、周囲の人との関わりの大切さについて理解している。 ・ 幼児の体の発達の特徴について理解している。 ・ 幼児の心の発達の特徴について理解している。 ・ 幼児の発達と生活の特徴について理解している。 ・ 幼児の生活習慣の習得の特徴について理解している。 ・ 幼児の生活習慣の習得を支える家族の役割について理解している。 		<p>・ 家族の立場から幼児とのかかわり方について、工夫し創造し、実践しようとする。</p>
	幼児のおやつ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の発達と生活の特徴について理解している。 		
家庭分野の学習を終えて			<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の生活を振り返り、自立と共生を目指して、これからの生活をよりよくする方法について考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立と共生を目指して、これからの生活をよりよくする方法について、工夫し創造し、家族や地域などで実践しようとしている。

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 授業観察 ・ ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ ワークシート ・ 授業観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 授業観察 ・ ワークシート

外国語（英語）科

教科目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p><聞くこと></p> <p>ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。</p> <p>イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えること</p> <p>ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。</p> <p><読むこと></p> <p>ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。</p> <p><話すこと〔やり取り〕></p> <p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。</p> <p><話すこと〔発表〕></p> <p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。</p> <p><書くこと></p> <p>ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。</p>
	<p>学年目標 9年終了時まで学習した文法や表現を習得する。</p>

単元	項目	評価の観点規準（B評価を表記）		
		知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう人間性
Unit 0 Three Interesting Facts about Languages	復習（受動態）	[知識] 受け身の文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・W)	行ってみたい国とそこで話されている言語について伝え合ったり書いたりするために、世界の言語について書かれた文章の情報を読み取っている。(L・R・SI・W)	行ってみたい国とそこで話されている言語について伝え合ったり書いたりするために、世界の言語について書かれた文章の情報を読み取ろうとしている。(L・R・SI・W)
Unit 1 Sports for Everyone Let's Write 1 有名な人の手紙	現在完了形（経験） SVOO SVOC	[知識] 現在完了形（経験用法）の疑問文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) [知識] SVOCの文の形・意味・用法を理解している。(R・SP・W) [知識] SVOO (that節)の文の形・意味・用法を理解している。(R・SP・W)	・これまでの経験について知るために、スポーツ競技などに関するアンケートの要点を捉えている。(R) ・相手のことを知るために、これまでの経験について、簡単な語句や文を用いてたずねたり、相手からの質問に答えたりしている。(L・R・SI)	・これまでの経験について書かれた英文を読んで要点を捉えたり、自分が経験したことのあることを即興で伝えたりしようとしている。(R・SP・W) ・相手のことを知るために、これまでの経験について、簡単な語句や文を

		<p>W)</p> <p>[知識] これまで学習した語彙を理解している (W)</p> <p>[技能] 現在完了形 (経験用法) などの理解をもとに、これまでに経験したことについて理解したり即興で伝えたりする技能を身につけている。(R・SP・W)</p> <p>[技能] SVOC (C=形容詞) などの理解をもとに、人の気持ちや状態の変化について理解したり伝えたりする技能を身につけている。(R・SP・W)</p> <p>[技能] SVOO (that 節) などの理解をもとに、人やものが私たちに伝えることを理解したり表現したりする技能を身につけている。(R・SP・W)</p> <p>[技能] 話の流れを示す語句の意味や働きの理解をもとに、ディスカッションを聞いて内容を聞き取る技能を身につけている。(L・SP)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツが持つ力を理解するために、障がい者スポーツについて書かれた文章の概要を捉えている。(R) ・人々を結びつけるスポーツの力について理解するために、障がい者スポーツを支える技術の進歩について書かれた文章の概要を捉えている。(R) ・日本を訪れる外国人に楽しんでもらうために、その人の経験や希望をもとに、日本滞在中のプランを考えてメールを書いている。(W) ・好きな有名人などに自分の気持ちや感想を伝えるために、表現方法を工夫しながら、ファンレターを書いている。(R・W) ・自分の意見を考えて述べるのに必要な情報を理解するために、修学旅行で行きたい場所についてのディスカッションを聞いて、要点を聞き取っている。(L) 	<p>用いてたずねたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。(L・R・SI・SP・W)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々を結びつけるスポーツの力について理解するために、障がい者スポーツを支える技術の進歩について書かれた文章の概要を捉えたり、簡単な語句や文を用いて伝えたりしようとしている。(R・SP・W) ・日本を訪れる外国人に楽しんでもらうために、その人の経験や希望をもとに、日本滞在中のプランを考えて発表したり、メールを書いたりしようとしている。(L・SP・W) ・好きな有名人などに自分の気持ちや感想を伝えるために、表現方法を工夫しながら、ファンレターを書くようとしている。(R・W) ・自分の意見を考えて述べるのに必要な情報を理解するために、修学旅行で行きたい場所についてのディスカッションを聞いて、要点を聞き取ろうとしている。(L・SP)
<p>Unit 2</p> <p>Haiku in English</p> <p>Let's Talk 1</p> <p>はじめての出会い</p> <p>Learning SCIENCE in English</p> <p>Let's Listen 2</p> <p>講演</p>	<p>現在完了形 (継続、完了)</p> <p>現在完了進行形</p>	<p>[知識] 現在完了形、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。(R・SI・SP・W)</p> <p>[知識] これまで学習した語彙を理解している (W)</p> <p>[技能] 現在完了形 (完了用法) などの理解をもとに、すでに終えたことやまだ終えていないことについて、理解したり伝え合ったりする技能を身につけている。(R・SI・SP・W)</p> <p>[技能] 現在完了形 (継続用法) などの理解をもとに、続いている状態やその期間についての対話の内容を捉えたり、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>[技能] 現在完了形 (完了・継続用法) などの理解をもとに、今の状況や続いている状態についての対話の概要を聞き取ったり、情報をたずね合ったり書いたりする技能を身につけている。(L・SI・W)</p> <p>[技能] 現在完了進行形などの理解をもとに、現在まで続いている動作について理解したり伝えたりする技能を身につけている。(R・SP・W)</p> <p>[技能] 初対面の場面で、歓迎の気持ちを伝える表現を用いて言葉をかけたり、相手に質問したり答えたりする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すでに終えたかどうかを知るために、宿題などの状況について書かれた文章の概要を捉えている。(R) ・相手のことを知るために、ある場所に住んでいる期間などについて相手にたずねたり、相手からの質問に答えたりしている。(L・R・SI) ・相手のことを知るために、今の状況や続いている状態について相手にたずねている。(W) ・海外でも愛される日本の伝統文化の魅力を知るために、日本の俳句について書かれた文章の概要を捉えたり書いたりしている。(R・W) ・言語や文化のちがいについて理解するために、英語の俳句の書き方のルールについて書かれた文章から必要な情報を読み取っている。(R) ・おたがいの知らない一面を知るために、自分や相手が好きなことや取り組んできたことについて、たずね合ったり答えたり、伝えたりしている。(SI・W) ・初対面の場面で歓迎の気持ちを伝えられるように、相手の状況に配慮しながら言葉をかけたり、相手に質問したり答えたりしている。(SI・W) ・生態系に起こっている問題を知るために、人間と環境の関係について書 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを知るために、ある場所に住んでいる期間などについて、相手にたずねたり相手からの質問に答えたり、自分のことを書いたりしようとしている。(L・R・SI・SP・W) ・相手のことを知るために、今の状況や続いている状態について相手にたずねたり、相手からの質問に答えたり書いたりしようとしている。(L・SI・W) ・海外でも愛される日本の伝統文化の魅力を知るために、日本の俳句について書かれた文章の概要を捉えたり伝えたりしようとしている。(R・SP・W) ・言語や文化のちがいについて理解するために、英語の俳句の書き方のルールについて書かれた文章から必要な情報を読み取ったり、英語俳句を書いたりしようとしている。(R・W) ・おたがいの知らない一面を知るために、自分や相手が好きなことや取り組んできたことについて、たずね合ったり答えたり、伝えたりしようとしている。(SI・SP・W) ・初対面の場面で歓迎の気持ちを伝えられるように、相手の状況に配慮しながら言葉をかけたり、相手に質

		<p>技能を身につけている。(SI)</p> <p>[技能] 現在完了形や現在完了進行形を用いて、これまでの経験や、過去から現在へとつながる状態や動作を伝える技能を身につけている。</p> <p>[技能] 食べ物の由来や食物連鎖に関する語句の意味や動きの理解をもとに、生態系について伝え合ったり書いたりする技能を身につけている。(SI・W)</p>	<p>かれた文章の概要を読み取ったり、生物同士の関係性を整理し、情報を伝え合ったり書いたりしている。(R・W)</p> <p>・話し手の伝えたい内容を理解してまとめることができるように、社会的な話題についての講演を聞いて要点を捉えている。(L・W)</p>	<p>問したり答えたりしようとしている。(SI)</p> <p>・生態系に起こっている問題を知るために、人間と環境の関係について書かれた文章の概要を読み取ったり、生物同士の関係性を整理し、情報を伝え合ったり書いたりしようとしている。(R・SI・W)</p> <p>・話し手の伝えたい内容を理解してまとめることができるように、社会的な話題についての講演を聞いて要点を捉えようとしている。(L・W)</p>
<p>Unit 3</p> <p>Animals on the Red List</p> <p>Let's Write 2</p> <p>記事への意見</p> <p>Stage Activity 1</p> <p>My Activity Report</p> <p>Let's Read 1</p> <p>A Mother's Lullaby</p> <p>Let's Listen 3</p> <p>ラジオの災害情報</p>	<p>不定詞</p> <p>使役の let と help</p> <p>人 動詞</p>	<p>[知識] <It is ... (for + (人など)) + to> の文の形・意味・用法を理解している。(R・SP・W)</p> <p>[知識] <want + (人など) + to> を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>[知識] <let [help] + (人など) + 動詞の原形> を用いた文の形・意味・用法を理解している。(R・SP・W)</p> <p>[知識] [知識] これまで学習した語彙を理解している (W)</p> <p>[知識] Unit 3 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>[知識] 未知語に対応して内容を聞き取る方法を理解している。(L)</p> <p>[技能] <It is ... (for + (人など)) + to> などの理解をもとに、自分たちにとって大切なことなどについて理解したり伝えたりする技能を身につけている。(R・SP・W)</p> <p>[技能] <want + (人など) + to> などの理解をもとに、人にしてほしいことなどについての対話の内容を捉えたり、だれかにしてほしいことについて伝え合ったりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>[技能] <It is ... (for + (人など)) + to> や <want + (人など) + to> などの理解をもとに、家での手伝いや得意なことについて伝え合ったりする技能を身につけている。(L・SI・SP・W)</p> <p>[技能] <let [help] + (人など) + 動詞の原形> などの理解をもとに、人に何かをさせたり、人を助けたりすることについて理解したり伝えたりする技能を身につけている。(R・SP・W)</p> <p>[技能] 場面や人物の心情を表す表現の理解をもとに、物語の流れに沿って</p>	<p>・私たちにとって大切なことを考えるために、絶滅のおそれのある動物などについて書かれた文章の概要を捉えている。(R)</p> <p>・だれかにしてほしいことを伝え合うために、絶滅のおそれのある動物などについて書かれた文章の概要や要点を理解している。(L・R)</p> <p>・人にしてもらいたいことを伝えるために、家での手伝いや得意なことなどについて簡単な語句や文を用いて伝え合っている。(SI・W)</p> <p>・環境問題について考えるために、絶滅のおそれのあるトキについて書かれた文章を読んで概要を捉えたり、自分の考えを書いたりしている。(R・W)</p> <p>・環境と私たちの生活について考えるために、絶滅のおそれのあるゴリラについて書かれた文章を読んで、概要を捉えている。(R)</p> <p>・絶滅のおそれのある動物を守るために、現状と自分の意見や考えを整理して、簡単な語句や文を用いて記事を書いている。(W)</p> <p>・社会的な話題に関する英文について意見を伝えられるように、賛成か反対か自分の立場を決めて、その理由や根拠を整理し、投稿文を書いている。(R・W)</p> <p>・部活動や委員会などの活動について知ってもらうために、活動報告の構成を理解したうえで、経験やほかの人へのメッセージを、内容についてのやり取りや原稿の推敲を通してまとまりのある文章を書いている。(L・R・SI・W)</p> <p>・気持ちをこめて音読することができるように、背景知識を使い、物語の流れに沿った場面の変化や登場人物</p>	<p>・私たちにとって大切なことを考えるために、絶滅のおそれのある動物などについて書かれた文章の概要を捉えたり、自分の考えを話したり書いたりしようとしている。(R・SP・W)</p> <p>・だれかにしてほしいことを伝え合うために、絶滅のおそれのある動物などについて書かれた文章を理解したり、伝え合ったりしようとしている。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>・人にしてもらいたいことを伝えるために、家での手伝いや得意なことなどについて簡単な語句や文を用いて伝え合ったり書いたりしようとしている。(L・SI・SP・W)</p> <p>・環境問題について考えるために、絶滅のおそれのあるトキについて書かれた文章を読んで概要を捉えたり、自分の考えを伝えたりしようとしている。(R・SP・W)</p> <p>・環境と私たちの生活について考えるために、絶滅のおそれのあるゴリラについて書かれた文章を読んで、概要を捉えたり、自分たちの行動について意見交換をしたりしようとしている。(R・SI)</p> <p>・絶滅のおそれのある動物を守るために、現状と自分の意見や考えを整理して、簡単な語句や文を用いて記事を書こうとしている。(W)</p> <p>・社会的な話題に関する英文について意見を伝えられるように、賛成か反対か自分の立場を決めて、その理由や根拠を整理し、投稿文を書こうとしている。(R・W)</p> <p>・「主題文」「支持文」「結論文」をつなげて、パラグラフを構成しようとしている。</p> <p>・部活動や委員会などの活動につい</p>

		<p>場面の变化や登場人物の心情を読み取る技能を身につけている。(R)</p> <p>[技能] 未知語に対応して内容を聞き取る方法の理解をもとに、災害情報を聞いて内容を聞き取る技能を身につけている。(L・SP)</p>	<p>の心情が書かれた文章の概要を捉えている。(R)</p> <p>・どう行動すればよいかを理解して人に伝えられるように、災害情報を聞いて必要な情報を聞き取っている。(L)</p>	<p>て知ってもらうために、活動報告の構成を理解したうえで、経験やほかの人へのメッセージを即興で話したり、内容についてのやり取りや原稿の推敲を通してまとまりのある文章を書いて発表したりしようとしている。(L・R・SI・W)</p>
<p>Unit 4</p> <p>Be Prepared and Work Together</p> <p>Let's Talk 2</p> <p>町中での手助け</p> <p>Learning CIVICS in English</p> <p>Let's Listen 4</p> <p>テレビの国際ニュース</p>	<p>間接疑問文</p> <p>what 節</p> <p>分詞</p>	<p>[知識] 間接疑問文の形・意味・用法を理解している。(R・SP・W)</p> <p>[知識] SVOO (what 節) の文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>[知識] 現在分詞・過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。(R・SI・SP・W)</p> <p>[知識] これまで学習した語彙を理解している (W)</p> <p>[技能] 間接疑問文などの理解をもとに、どこにあるか、どのように行動するかなどについて知っているかどうかを、理解したり伝えたりする技能を身につけている。(R・SP・W)</p> <p>[技能] SVOO (what 節) などの理解をもとに、どこにあるか、どのように行動するかなどを教えてほしいと依頼する技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>[技能] 間接疑問文と SVOO (what 節) などの理解をもとに、有名人やあこがれの人物について、情報をたずねたり伝え合ったりする技能を身につけている。(L・SI・W)</p> <p>[技能] 困っている相手に対して、手助けを申し出る表現を用いて言葉をかけたり、相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。(SI)</p> <p>[技能] 選挙や投票に関する語句の意味や働きの理解をもとに、対話や資料からの情報を整理し、自分の意見を伝え合う技能を身につけている。(L・SI・W)</p>	<p>・防災への意識を高めるために、外国人市民意識調査とその結果について書かれた文章の要点を捉えている。(R)</p> <p>・防災の意識を高めるために、どこにあるか、どのように行動するかなどを教えてほしいと依頼している。(L・R・SI)</p> <p>・現在分詞などの理解をもとに、言葉に情報を加えて説明する技能を身につけている。(R・SI・SP・W)</p> <p>・防災・安全への関心を高めるために、日本で地震にあった外国人の体験談について書かれた文章の要点を捉えたり、どのような人かを説明したりしている。(R・SI)</p> <p>・防災への意識を高めるために、標識が何を意味しているかについて、簡単な語句や文を用いて、話したり書いたりしている。(SI・W)</p> <p>・困っている相手に対して状況に合った手助けができるように、相手の立場に立った具体的な提案を申し出たり、相手からの質問に答えたりしている。(SI・W)</p> <p>・自分の言葉で説明できるように、ニュースや国の紹介のテレビ番組の音声聞いて、概要や要点を捉えている。(L・W)</p>	<p>・防災への意識を高めるために、外国人市民意識調査とその結果について書かれた文章の要点を捉えたり伝えたりしようとしている。(R・SP・W)</p> <p>・防災の意識を高めるために、どこにあるか、どのように行動するかなどを教えてほしいと依頼しようとしている。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>・好きな有名人やあこがれの人物について知ってもらうために、その人の情報を整理して、簡単な語句や文を用いて、たずねたり答えたりしようとしている。(L・SI・W)</p> <p>・防災・安全への関心を高めるために、日本で地震にあった外国人の体験談について書かれた文章の要点を捉えたり、どのような人かを説明したりしようとしている。(R・SI・SP・W)</p> <p>・防災への意識を高めるために、標識が何を意味しているかについて、簡単な語句や文を用いて、話したり書いたりしようとしている。(SI・SP・W)</p> <p>・困っている相手に対して状況に合った手助けができるように、相手の立場に立った具体的な提案を申し出たり、相手からの質問に答えたりしようとしている。(SI)</p> <p>・選挙と投票について考えを深めるために、投票率に関する資料から読み取った情報を伝え合ったり、身近な話題について公約を考えて発表したりしようとしている。(L・SI・SP・W)</p> <p>・自分の言葉で説明できるように、ニュースや国の紹介のテレビ番組の音声聞いて、概要や要点を捉えようとしている。(L・SP)</p>
<p>Unit 5</p> <p>A Legacy for Peace</p> <p>Let's Write 3</p> <p>グラフや表の活用</p> <p>Stage Activity 2</p>	<p>接触節、関係代名詞</p>	<p>[知識] 名詞を修飾する文 (接触節) の形・意味・用法を理解している。(L・R・SP・W)</p> <p>[知識] 関係代名詞 who that [which] を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W)</p>	<p>・どのような人 [もの] かを理解するために、言葉に加えられた情報をもとに要点を捉えている。(R)</p> <p>・どのような人かを理解したり伝えたりするために、要点を捉えたり、言葉に情報を加えて説明したりしている。</p>	<p>・どのような人 [もの] かを理解するために要点を捉えたり、言葉に情報を加えてどのような人 [もの] かを説明したりしようとしている。(L・R・SP・W)</p> <p>・ どのような人かを理解</p>

<p>Discover Japan Let's Listen 5 世界で働く人への インタビュー</p>		<p>W)</p> <p>[知識] Unit 5 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(R・SI・SP・W)</p> <p>[知識] これまで学習した語彙を理解している(W)</p> <p>[技能] 名詞を修飾する文(接触節)などの理解をもとに、言葉に詳しい情報を加えて説明する技能を身につけている。(L・R・SP・W)</p> <p>[技能] 関係代名詞 who などの理解をもとに、どのような人かを説明する技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>[技能] 関係代名詞 that [which] (主格・目的格)などの理解をもとに、言葉に詳しい情報を加えて説明する技能を身につけている。(R・SP・W)</p> <p>[技能] 後置修飾を用いて、情報を加えて説明する技能を身につけている。</p>	<p>る。(L・R・SI)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平和や人権の大切さを考えるために、ガンディーらの生涯と功績について書かれた文章の概要を捉えたり、時間軸に沿って説明したりしている。(R・W・SP) 興味を持った話題を人に伝えることができるように、資料から読み取った情報について、事実と意見を整理し、まとまりのあるレポートを書いている。(R・W) 日本を訪れる人に日本の魅力を知ってもらうために、日本や郷土の文化について書かれた文章を読んだり質問し合ったりして、詳しい情報を加えながらまとまりのある文章を書いて紹介している。(R・SI・SP・W) 働く人へのインタビューを理解して質問を考えられるように、人物の経歴を聞いて概要を捉えている。(L) Unit 5 までの学習事項を用いて、日本や郷土の文化について書かれた文章を参考にしたりやり取りをしたりすることで、詳しい情報を加えながら紹介文を書く技能を身につけている。(R・SI・SP・W) 	<p>したり伝えたりするために、要点を捉えたり、言葉に情報を加えて説明したりしようとしている。(L・R・SI・SP・W)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平和や人権の大切さを考えるために、ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の概要を捉えたり、時間軸に沿って説明したりしようとしている。(R・SP・W) あこがれの人物を紹介するために、その人についての詳しい情報を整理して加え、書いた原稿をもとに発表したり、その内容について質問したりしようとしている。(SI・SP・W) 興味を持った話題を人に伝えることができるように、資料から読み取った情報について、事実と意見を整理し、まとまりのあるレポートを書こうとしている。(R・W) 日本を訪れる人に日本の魅力を知ってもらうために、日本や郷土の文化について書かれた文章を読んだり質問し合ったりして、詳しい情報を加えながらまとまりのある文章を書いて紹介しようとしている。(R・SI・SP・W) 働く人へのインタビューを理解して質問を考えられるように、人物の経歴を聞いて概要を捉えようとしている。(L・SI)
<p>Unit 6 Beyond Borders Let's Talk 3 食品の選択 Let's Listen 6 中学校生活の思い出 Stage Activity 3 Let's Have a Mini Debate</p>	<p>仮定法</p>	<p>[知識] 仮定法過去を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>[知識] これまで学習した語彙を理解している(W)</p> <p>[知識] Unit 6 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(R・SI・W)</p> <p>[技能] 仮定法などの理解をもとに、現実とは異なる願い事を理解したり伝えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>[技能] 仮定法 (If+主語+動詞の過去形、…)と主語を説明する関係代名詞などの理解をもとに、国をこえて助け合うことの大切さについて、理解したり伝えたりする技能を身につけている。(R・SI・SP・W)</p> <p>[技能] 食品の選択について、これまで読んだ内容や自分の考えを整理して、賛成や反対とその理由を述べる表現を用いて、主張を伝え合う技能を身</p>	<ul style="list-style-type: none"> 世界の子供たちの気持ちを理解するために、現実とは異なる子供たちの願い事について書かれた文章の概要を捉えている。(R) 国をこえて助け合いたいという気持ちを伝えるために、現実とは異なる架空の話の概要を捉えている。(L・R) 願いを伝えるために、現実とは異なる願い事や架空の話について、考えや気持ちを整理して書いている。(SI・W) 国をこえて助け合うことの大切さを理解したり伝えたりするために、国際社会の状況について書かれた文章の概要を捉えている。(R・SP) 国をこえて助け合うために、世界の現状についての話を聞いて概要を捉え、自分の感想や考えを伝えている。(L・W) 議論を通して考えを深めることができるように、食品の選択について、 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の子供たちの気持ちを理解するために、現実とは異なる願い事の概要を捉えたり伝えたりしようとしている。(R・SP・W) 国をこえて助け合いたいという気持ちを伝えるために、現実とは異なる架空の話の概要を捉えたり、説明したりしようとしている。(L・R・SI・SP・W) 願い事の内容を理解したり伝えたりするために、現実とは異なる願い事や架空の話について、考えや気持ちを整理して伝えようとしている。(L・SI・SP・W) 国をこえて助け合うことの大切さを理解したり伝えたりするために、国際社会の状況について書かれた文章の概要を捉えたり、意見や感想を伝えたりしようとしている。(R・SI・SP・W) 国をこえて助け合うために、世界の現状についての話を聞いて概要を捉

		<p>につけている。(R・SI)</p> <p>[技能] 仮定法を用いて、願いや現実とは異なることを伝える技能を身につけている。</p> <p>[技能] スピーチの構成の理解をもとに、中学校生活の思い出について、スピーチを聞いて内容を聞き取る技能を身につけている。(L・SP)</p> <p>[技能] Unit 6 までの学習事項を用いて、ある論題について賛成・反対の立場を決めて、主張とその理由を明確にしなが、意見を伝え合う技能を身につけている。(R・SI・W)</p>	<p>これまで読んだ内容や自分の考えを整理して、相手の意見を受けて主張を述べ合っている。(R・SI)</p> <p>・物事を論理的・多面的に考えて説得力のある主張ができるようになるために、社会的な話題について書かれた文章を参考に、賛成・反対の立場を決めてグループでディベートを行い、論点に沿った主張をしている。(R・SI・W)</p>	<p>え、自分の感想や考えを伝えようとしている。(L・SI・SP・W)・</p> <p>・議論を通して考えを深めることができるように、食品の選択について、これまで読んだ内容や自分の考えを整理して、相手の意見を受けて主張を述べ合おうとしている。(R・SI)・</p> <p>・スピーチができるようになるために、友達の中学校生活の思い出についてのスピーチを聞いて、概要を捉えようとしている。(L・SP)・</p> <p>・物事を論理的・多面的に考えて説得力のある主張ができるようになるために、社会的な話題について書かれた文章を参考に、賛成・反対の立場を決めてグループでディベートを行い、論点に沿った主張をしようとしている。(R・SI・W)</p>
<p>Let' s Read 2 Power Your Future Let' s Read 3 A Graduation Gift from Steve Jobs 3年間の復習 受験対策</p>		<p>[技能] 長所と短所を比較して述べる文章の構成の理解をもとに、エネルギー問題について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。(R)</p> <p>[技能] メッセージを伝える文章の構成の理解をもとに、生き方について書かれたスピーチの原稿を読み取る技能を身につけている。(R)</p>	<p>・自分にできることや感想などを述べるができるように、様々なエネルギー問題について書かれた説明文の概要を捉えている。(R)</p> <p>・メッセージの要点を自分の言葉で伝えることができるように、テーマとエピソードを整理し、生き方について書かれたスピーチ原稿の要点を捉えている。(R)</p>	<p>・自分にできることや感想などを述べるができるように、様々なエネルギー問題について書かれた説明文の概要を捉えようとしている。(R)</p> <p>・メッセージの要点を自分の言葉で伝えることができるように、テーマとエピソードを整理し、生き方について書かれたスピーチ原稿の要点を捉えようとしている。(R)</p>

	知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう人間性
評価材料	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単語テスト ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・授業中に制限時間内で取り組むライティング課題 ・スピーチ ・即興スピーキングテスト ・リーディングテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題やテスト等に取り組む姿勢 (授業観察、成果物、努力の跡) ・小テスト ・テストの解き直し ・学習したことの振り返り

